

JForest 熊本県森林組合連合会

森林組合だより

FOREST ASSOCIATION COMMUNICATION PAPER

第191号

令和8年1月発行

発行所
熊本県森林組合連合会〒861-8041
熊本市東区戸島2丁目3-35
TEL (096) 285-8688
FAX (096) 285-8651
発行人 前 川 收
<http://www.kumamori.or.jp>

『2026年は丙午（ひのえうま）』

本年の干支（えと）は十干（じっかん）が「丙（ひのえ）」と十二支（じゅうにし）の「午（うま）」で組み合わせた『丙午（ひのえ・うま）』の年です。

丙（ひのえ）は、十干の3番目で「火」の要素を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされています。一方十二支は午（うま）年で、古くから人間とともに生きてきた動物で、駿足を持ち、独立心が強く、また人を助けてくれる存在でもあります。そのため丙午（ひのえうま）の年は、「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」年になることを期待しています。

また、馬が「縁起が良い」と言われる理由には、前へ進む象徴（成長）、努力の実り、勝利、出世、商売繁盛のシンボルなど「福を運ぶ動物」として特別な意味を持つとされています。



他職員一同	荒平昇	源川貞夫	堀川泰注	桑畑達美	宮原俊彦	味岡和國	黒木信夫	坂田鉄太郎	河津宗範	荒木拓馬	廣田邦彦	副会長 池田和貴	代表理事 前川收
			監事							理事	専代表理事 務事		熊本県森林組合連合会

新年のご挨拶

～ New year greetings ～



熊本県森林組合連合会
代表理事会長

前 川 收



会員の皆さま、あけましておめでとうございます。新たな年を迎え、皆さまには健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。旧年中は各組合での業務に真摯に取り組んでいただき、心より感謝申し上げます。

まず、昨年8月の豪雨では県央を中心に甚大な被害が生じ、農林水産業全体で約861億円、そのうち林業関係が約177億円に上りました。被害に遭われた皆さまにお見舞い申し上げます。

2025年を振り返りますと、国内外で多くの歴史的な出来事がありました。世界では1月にトランプ大統領が就任し、各国への関税引き上げ要求などが世界経済に大きな影響を与えました。ロシア・ウクライナ戦争の長期化や、中東のイスラエル・パレスチナ紛争など、不安定な情勢が続いた一年でもありました。

国内では、20年ぶりとなる大阪万博が開催され、世界最大の木造建築物としてギネス認定された大屋根リングに熊本県産材が使用されるなど、木造建築の新たな可能性を示す機会となりました。

政治面では、参議院選挙で自民党が過半数に届かず政局が不安定となる中、10月の臨時国会で女性初の高市早苗総理大臣が誕生し、日本維新の会との連立政権が発足しました。

経済面では、物価高が続く中でも日銀の利上げ見送り観測やAI・半導体関連企業の好調などにより株価が上昇し、1月に3万円台だった株価は11月には5万円を超えました。

林業界でも大きな前進がありました。技能検定制度に林業部門が新設され、県内で1級1名、2級9名、3級30名の林業技能士が誕生しました。今後、公共工事や外国人技能者の指導者要件として位置づけられることが見込まれるため、資格取得を積極的に進めていただきたいと思います。連合会としてもしっかりと支援してまいります。

また、改正クリーンウッド法が4月に施行され、森林組合でも原木情報の提供が義務化されました。違法伐採木材の排除により原木単価の安定化が期待され、森林所有者の所得向上につながるものと考えております。さらに、森林のCO₂吸収量を価値化するJクレジット制度も、2026年度からの排出量取引制度義務化により、今後一層の取り組み拡大が見込まれます。

わが国は今、大きな変革の途上にあります。森林組合が成長していくためには、既成概念にとらわれない柔軟な発想と広い視野が求められます。変革の時代にあっても、相互扶助の精神のもと、組合系統が一致団結し、ともに力強く前進してまいりましょう。

結びに、本年が皆さまとご家族にとって幸多き一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。



熊本県農林水産部
部長

中 島 豪



会員並びに森林組合の組合員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には日頃から、本県の森林・林業・木材産業施策の推進に当たりまして、格段のご支援とご協力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

さて、本県では、令和6年12月に「くまもと新時代共創基本方針」と「総合戦略」を策定しました。

総合戦略では、林業・木材分野について、森林の清々しさや木の暖かみを感じられる場を広げつつ林業・木材産業を次のステージに押し上げ、森林整備におきましても、市町村・関係団体・事業者が連携し、森林の有する二酸化炭素の吸収機能、防災機能をはじめとする公益的機能の発揮に取り組むこととしております。

このような中、8月豪雨では県内の森林も多大な被害を受け、県と市町村では、治山事業や林道事業により早期復旧を進めているところでございます。

今後は、令和2年7月豪雨からの復旧・復興と「緑の流域治水」の取り組みとともに、災害に強い森林づくりや、持続可能な林業の推進に向けた施策を進めて参ります。

また、林業においても担い手の確保・育成が重要な課題となっていますが、職業能力開発促進法の技

能検定の職種に「林業」が加わり、昨年、初めての検定試験が本県と愛媛県で実施されました。育林及び素材生産に関する技能及び知

識に関して、国から1級～3級の「林業技能士」資格が付与されるため、従事される方々の社会的地位の向上や、就労環境の改善が期待されます。

一方で、県産材の需要拡大に向け、建築物における県産材の炭素貯蔵量を認証して見える化し、認証を受けた企業を「デカボナ（デカーボナイゼーションの略、脱炭素化の意味）木業^{きぎょう}」と称して木材利用を後押しする仕組みを創設しました。

県としましても、これら各種施策にしっかりと取り組み、『伐って、使って、植えて、育てる』という森林資源の循環利用サイクルの構築に引き続き取り組んで参りますが、こうした施策を推進していくためにも、森林組合の担う役割はますます重要となって参ります。今後とも皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

結びに、本年が皆様方にとって輝かしい年となりますよう、併せて、ますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

『くらしと人権』 =気づこう、そして考えよう=

熊本県人権啓発
マスコットキャラクター
「コッコロ」

「人権」とは

人は誰でも自分らしく、そして幸せに生活するという基本的な権利を生まれたときから持っています。この権利を「人権」といいます。



「人権問題の解決」のためには

私たち一人ひとりが、相手の立場に立って考え、自分の言動に責任を持つことが重要です。

「熊本県では、結婚や就職の際の部落差別につながるような身元調査が条例で規制されています。」

全国森林組合連合会
代表理事会長

中 崎 和 久



年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、弊会の業務運営につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、昨年も全国各地で豪雨などの自然災害が発生しました。特に、岩手県大船渡市はじめ各地で発生した大規模な林野火災では多くの森林が焼失し、地域住民の生活にも大きな影響が生じました。これらの災害により被害を受けられた皆さまに衷心よりお見舞いを申し上げます。

また、昨年は全国各地で例年以上に熊の目撃や被害が相次ぎました。この背景には餌となる堅果類の凶作だけでなく、里山の衰退を起因としたナラ枯れの拡大や人工林の荒廃等も原因であると考えられます。全国の森林組合系統の皆さまにおかれましては、従業員の命を守ることは勿論のこと、生態系の保全により健全な森林環境を取り戻すため地域の森林整備等を一層進めていただきたくお願い申し上げます。

さて、政府においては、花粉症対策の一環として花粉の少ない森林への転換促進対策が推し進められております。森林組合系統と致しましても、系統運動「JForestビジョン2030」において、「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業の確立を掲げ、目標達成に向けて系統全体で主伐再造林に取り組むこととしており、再造林の低コスト化や苗木確保等の課題解決に取り組みながら花粉発生源対策と合わせて推進していく所存です。

一方、「植えて、育てる」ためには木を積極的に「使う」ことが重要であり、特に木材は建築物等に利用することで製造時のCO₂排出量が少なく済むことに加え、吸収したCO₂を長期間固定でき地球温暖化防止に貢献します。政府では令和7年10月1日より、森林資源を循環利用し全国で街の木造化を進める「『森の国・木の街』づくり宣言」の募集を開始しました。弊会においても宣言に賛同したところであり、今後多くの自治体や企業が建築物の木造化など木材利用の推進、木材利用の

効果の見える化に取り組むことが期待されます。

加えて、人材の確保・育成の取り組みも重要です。

一昨年から開始された林業技能検定制度は、本格的に全国各地で試験が行われ、森林組合等に所属する多くの現場技能者が受検しております。

また、昨年10月には、「第4回日本伐木チャンピオンシップ(JLC) in 鳥取」が開催され、本年3月にスロベニアで開催される世界伐木チャンピオンシップ(WLC)への出場者が決まっております。勝ち抜かれた選手の皆さまには、世界大会でも実力を遺憾なく発揮されることを期待しております。

昨年10月には我が国初の女性首相による内閣が発足致しました。ジェンダーギャップレポートでは長年、主要7か国で最下位であった我が国ですが、これを機に好転が期待されるところであり、森林組合系統におきましても女性理事や管理職の登用など女性活躍推進活動をさらに強化して参りたいと存じます。

また、2025年国際協同組合年において各地で取り組まれた協同組合間連携につきましては、昨年で終わらせることなく継続して推進していくことが重要です。SDGsの達成やカーボンニュートラル社会の実現等、社会課題の解決に向けた取り組みを「実践」し、広く「発信」しながら、森林組合系統の活動に対する社会の認知を高めるとともに、系統の更なる発展と「JForestビジョン2030」の実現を目指して参ります。

今後も、弊会では系統関係者及び関連団体とともに、人材の確保・育成、森林資源の循環利用、国産材利用促進等に向け、役職員一同精進する所存です。倍旧のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

農林中央金庫 福岡支店
支店長

金 井 祐 行



令和8年の新春を迎え、
森林組合の皆様にご挨拶を申し上げます。
旧年中は弊庫の業務に格別
のご高配を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年、海外では米国の関税政策、中東情勢の悪化、米中対立等により世界経済の不確実性が高まり、国内では、米価高騰や新政権発足等、変動の大きい一年でした。また、国内各地で猛暑や豪雨が相次ぎ、九州地域では、8月の豪雨により多くの方々が被災されました。被害にあわれた方々に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、森林・林業分野に目を向けますと、建築基準法改正や脱炭素への関心の高まりを背景に、非住宅建築物の木造木質化の動きが進んでおり、今後、木材需要の一層の拡大が見込まれます。一方で、林業従事者の高齢化や担い手不足、所有者不明森林への対応等、課題も多く存在しております。このような状況においては、木材の安定供給や森林整備の担い手としてだけでなく、森林の管理・保全活動を行

うことで環境保全にも貢献している森林組合系統の皆様に対する国民の期待は今後さらに高まることが予想されます。

かかる中、私どもといたしましては、これまで森林組合系統の皆様に対し、様々なお手伝いをさせていただきました。具体的には、労働安全性向上のための費用助成を行う「労働安全性向上対策事業」、荒廃した民有林再生を支援する「農中森力基金」、さらに環境保全や林業所得向上に資する取り組みとして「森林組合系統による森林吸収系」-クレジット創出・販売」に取り組んでおります。

また今年度から、主伐・間伐・再造林の実行に資する資材の購入費用助成を行う「施業関連資材助成事業」も開始しております。本事業を通じ、森林組合系統運動の全国目標値達成を後押しし、林業所得の向上および森林組合系統の基盤強化へ貢献いたします。

今後とも森林組合系統の発展に向けて取り組んで参りますので、引き続きのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

❖ おかげさまで…!! 平成26年からこれまで60台の出荷実績!!

コンテナ苗植栽用充電式
パワーアシストドリル

しょくあなめいじん

『職穴名人』

～充電式ドリルで
安全・快適植穴掘り～

先端の三角翼で毛根域に侵入し根がらみ抑制

粘性土壌、礫混じり土壌でも目詰まり抑制堀削

オーガー螺旋翼で効率廃土し植穴形成

コンテナ苗150cc用はφ50、300ccはφ60オーガー

環境にやさしく植穴掘の軽労化を図る



販売者

JForest

熊本県森林組合連合会

熊本市東区戸島2丁目3-35
TEL 096-285-8688

令和7年度 第30回全国森林組合大会 (国際協同組合年記念大会) ～ IYC 2025を契機とした協同組合の連携と発展～

全国森林組合連合会主催の令和7年度JForest全国森林組合大会が10月21日、銀座プロッサム中央会館ホール(東京都中央区)で開催され、全国各地から約700名の森林組合関係者が参集しました。



大会風景



表彰式風景

今年は、国際連合が定める「国際協同組合年(IYC 2025)」にあたり、記念大会として「IYC 2025を契機とした協同組合の連携と発展」をサブタイトルに開催されました。

本大会では、多年にわたり森林組合活動の発展に寄与したことが評価され、全国で唯一林野庁長官賞を当連合会が、全国森林組合連合会会長賞を小国町森林組合がそれぞれ受賞しました。

森林組合系統運動「JForestビジョン2030」の半期成果検証報告やその見直しについて説明があり、豪雨災害や山林火災への備えとなる森林保険の加入推進、ネイチャーポジティブに対応した多様な森林整備、DX(デジタルトランスフォーメーション)による業務効率化と人材



前川会長による『がんばろう三唱』

育成、林業技能士の資格取得促進などが重点課題として挙げられました。

さらに、本大会では、森林整備や人材の確保・育成等に関する予算確保に向けた国への要望事項の決議が採択されました。

大会決議

1. 2050年ネット・ゼロ・国土強靱化に向けた森林整備・保全と適切な管理の推進
2. 人材の確保・育成と労働安全対策推進強化
3. 生産性向上と需要拡大による国産材の供給・利用促進等
4. 激甚な災害からの復旧・復興
5. 林業及び山村振興等に必要な林業税制の改正

令和7年度

国への要望活動および熊本県木材利用に関する勉強会の開催

とき：令和7年10月21日(火)～22日(水) ところ：東京都千代田区(林野庁ほか)

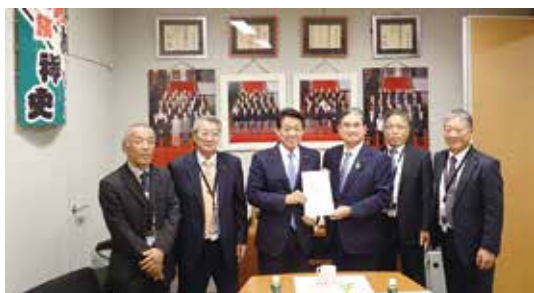
熊本県林業政治連盟の所属団体長により、令和8年度政府予算等に関する提案・要望書を小坂林野庁長官ほか熊本県選出の国会議員へそれぞれ手交し、予算概算要求の満額獲得に向けての要請を行いました。

翌日に、埼玉県さいたま市にある株式会社A Q Group 本社ビル（8階建て純木造ビル）を視察しました。このビルは従来の木造ビル建設費用の約1/2、坪145万円で建設された実証実験ビルです。純木造中規模建築物の普及に向けた取り組みや今後の展望について意見交換を行い、非住宅分野での木造化の可能性が広がることが期待されています。

要望書手交（林野庁長官室にて）



要望書手交（松村参議員室にて）



林業施策勉強会



デザインと木質感を両立させた存在感のある佇まい。A Q Group 本社は、実証実験ビルとして完成しました。

A Q Group 本社ビル内と勉強会の様子



県 予 算 提 案 活 動

＝ 県予算等に関する提案書 ＝

熊本県林業政治連盟（前川 収 委員長）では令和7年11月25日（火）に熊本県庁を訪問し、審議会室において知事への令和8年度県予算等に関する要望書を竹内副知事へ手交しました。

知事手交に先立ち、熊本県教育長、総務部長、土木部長、農林水産部長への要望活動を行い、原木価格の安定が森林・林業にとっては最も重要なことであり、住宅着工戸数の減少が予想される中で、公共建築物へ熊本県産木材を採用、活用いただく事が林業の衰退を止めます。

また、担い手対策についても少子化が進む中で、林業大学校を核とした対策や、DXやAI化による省力化や機械化、機械化に対する助成を進める担い手対策、近年深刻化する有害鳥獣に対する対策等を知事に対し協力を要請しました。

＝ 県予算等に関する提案書 ＝

1. 2050年ネットゼロの実現等に資する森林整備事業予算の確保
2. 森林の適正な経営管理への支援及び森林整備関連施設等の拡充
3. 森林就業者の確保・保育と労働安全対策の強化
4. 国土強靱化等に資する安全・安心な国土基盤の確立



竹内副知事に手交する前川委員長

各種研修会の開催



当連合会では、会員の皆様からのご要望を反映し、役職員の能力向上を目的として、さまざまな研修を企画・実施しました。

森林組合初任者研修会

開催日：令和7年5月22日（木）

開催場所：熊本県林業会館 2F 会議室

対象者：森林組合に入組3年以内の者

講師：〈午前の部〉県森連職員

〈午後の部〉株式会社Small Planet

代表取締役 緒方 美英子氏

内容：参加者は、森林や林業の現状、森林組合の組織構成、そしてコンプライアンスの基本について体系的に学びました。これにより、業界全体の流れや自分の役割について理解を深める研修を行いました。また、午後の研修では、ビジネスマナーの基礎知識や実践的なスキルを身につけることができました。特に、敬語の使い方や名刺交換など、日常業務で必要となるマナーについて自信を持てるようになったという声が多くありました。



内部監査担当者研修会

開催日：令和7年5月27日（火）

開催場所：熊本県林業会館 2F 会議室

講師：全国森林組合連合会 組織部監査企画担当部長 岸田 慎介氏

内容：内部監査規程を基に、会計処理や業務執行が定款・規約・諸規程、総会や理事会で定めた方針・事業計画に沿って行われているかを確認する手法について学び、管理体制の適切性や有効性の評価方法も取り上げました。

また、各森林組合で内部監査を円滑に実施できるよう、実践的な研修を通じて具体的な手順やポイントを共有しました。さらに、森林・林業分野の近年の話題や、本会が実施する監査士監査についての最新情報を提供し、現場で求められる知識や対応力の強化を図りました。



森林組合初任者フォローアップ研修会

開催日：令和7年6月10日（火）

開催場所：熊本県林業会館 2F 会議室

対象者：初任者研修を受けた者

講師：県森連職員

林業・木材製造業労働災害防止協会熊本県支部 安全指導員 梅木 夏男氏

肥銀ビジネス教育株式会社 鶴田 陽子 マナー講師

内容：林業の現状や課題、安全作業の重要性を再認識し、安全な職場づくりへの意識が高まりました。また、入職からこれまでの自分自身の成長を振り返り、今後の課題や目標を明確にする機会となりました。さらに、グループ演習を通じて、コミュニケーション力やモチベーションが向上し、業務を円滑に進める基礎が身につきました。



森林組合監事研修会

開催日：令和7年9月10日（水）

開催場所：グランメッセ熊本 2F 大会議室

対象者：森林組合の監事

講師：〈午前の部〉農林中央金庫福岡支店 Jフォレスト班
荒牧 陽実氏

講師：〈午後の部〉きこりの相談室きこりの女房 荒川 美作保氏
(中小企業診断士・キャリアコンサルタント)

内容：コンプライアンス全般についての理解が深まり、監事としての役割や責任を再認識できました。「監事の役割と監査の実務」について、具体的な事例を交えて学ぶことで、実践的な知識と対応力が身につき、監事が組織の見守り役として、適切な運営や組合の発展に貢献する意識が高まりました。



森林に関する法務研修会

開催日：令和7年10月15日（水）・16日（木）

開催場所：熊本県林業会館 2F 会議室

講師：すずきしんたろう事務所 鈴木 慎太郎氏
(社会保険労務士・司法書士・ファイナンシャルプランナー)

内容：2日間に渡りWebも併用しながら、今年度初めて「法務」に関する研修を実施しました。1日目は、契約の基礎（民法の原則や森林法制との関係）、契約と損害賠償、相続の基礎や登記の義務化について学び、2日目は、共有の基礎、不明な共有者・所有者への対応、紛争事例など、林業に特化した法務について講義を受けました。特に「相続登記の義務化」や「所有者不明土地関連制度」など、改正森林経営管理法や実務対応についても取り上げ、法令の理解を深める内容でした。



森林組合役員研修会

開催日：令和7年11月12日（水）

開催場所：グランメッセ熊本 2F コンベンションホール

対象者：森林組合の理事・監事

講師：銘建工業株式会社 代表取締役社長 中島 浩一郎氏
 熊本県農林水産部 森 林 局 長 宮脇 慈氏
 肥 銀 ビ ジ ネ ス 教 育 株 式 有 限 公 司 堀 川 貴 子 氏

内 容：午前中は銘建工業株式会社の中島代表取締役社長より、住宅着工戸数の減少による木材需要の低下や、新たな価値創出の必要性、バイオマス発電への取り組みなどについて講話がありました。午後は熊本県森林局の宮脇局長から、熊本の林業の現状や今後の展望についてデータを交えて説明があり、県の取り組みや今後の方向性について参考となる情報を得ました。最後に、肥銀ビジネス教育(株)の堀川氏によるコンプライアンスの基礎研修を受講し、コンプライアンスの重要性を再認識し、組織運営における法令遵守や倫理意識が高まる内容となりました。



YSバイオ チェーンオイル 森林にやさしい チェンソー チェーン専用生分解性オイル



詳細はこちら

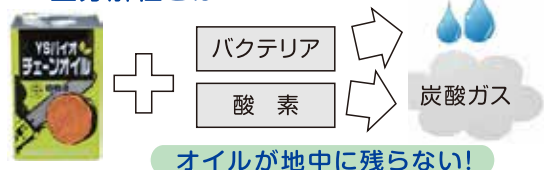


エコマーク認定番号
第04110008号

ヤナセ製油株式会社
内容量：200L・18L・4L×6

自然環境への配慮！
作業環境を守る！
優れた潤滑性能！！

＝生分解性とは＝



※「生産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられるラベルです。

■ お問い合わせは



熊本県森林組合連合会
事業部 購買係

熊本市東区戸島2丁目3-35
TEL 096-285-8688

第30回 熊本県木材利用優良施設コンクール

＝ 熊本県森林組合連合会賞 ＝ 『山都町総合体育館パスレル』受賞

このコンクールは、県産木材を利用した優れた木造大型施設等を顕彰することにより、県民の県産木材利用の意識の向上と需要拡大を図ることを目的に平成7年から毎年開催されています。

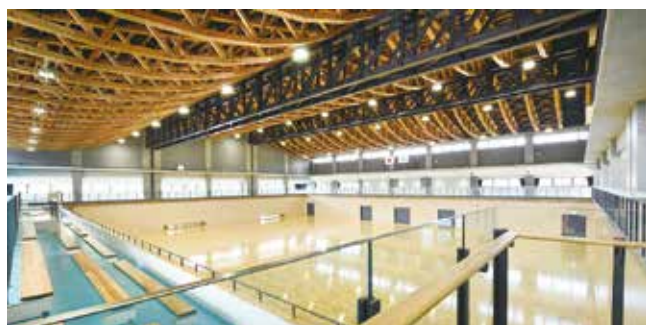
令和6年度の表彰式は、令和7年3月21日に熊本県庁地下大会議室において行われ、熊本県森林組合連合会賞を、『山都町総合体育館パスレル』が受賞されました。



表彰式：令和7年3月21日 熊本県庁



山都町総合体育館パスレル



＝選考のポイント＝

アリーナと武道場を持つ、山間に立つまちのスポーツ拠点施設である。檜の小径断面材を組み合わせた弓形木造トラスが、2つの大屋根を支えている。アリーナは40mを超える大スパンのため、途中2カ所で鉄骨キール梁を併用し木造トラスを接合している。2つの大屋根を同じ木造トラスで支えることで、内観に統一感を持たせることに成功している。

トラス上部天井の黒塗装により檜の色が相まって、見上げたその様は圧巻である。木造トラスの反りは屋根の形状に反映され、巨大なボリュームによる圧迫感を軽減することに一役買っている。

所在地／上益城郡山都町千滝271番地
施主／山都町

設計／株式会社安井建築設計事務所
施工／西松・三栄特定建設工事共同企業体

延べ床面積／4,492㎡
県産材使用量／220㎡
主な使用樹種／スギ、ヒノキ

その他の受賞者は以下のとおりでした。

〔熊本県賞〕

『南阿蘇鉄道高森駅・交流施設』

〔熊本県木材協会連合会賞〕

『芦北町営住宅 的場尻団地』

〔熊本県木材事業協同組合連合会賞〕

『青海保育園』

〔くまもと県産材振興会賞〕

『あさぎり町役場 第二庁舎』

『北里柴三郎記念館シアターホール』(愛称:ドンネル館)

『東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパス』

〔木材を利用した建築物の紹介〕

『KDSアカデミータウン花園ステーション』、
『まこと保育園』、『山鹿市立八幡小学校屋内運動場』、
『芦北町営住宅 園川団地』

〔賛助施設〕

『熊本県立球磨支援学校』

『熊本県立小川工業高等学校 実習棟』

『熊本県動物愛護センター』



よろしくお願いします

熊本県森林組合連合会

代表理事専務 廣 田 邦 彦



この度、熊本県森林組合連合会の代表理事専務に選任されました廣田でございます。

これまでの先人たちの努力によって形成された人工林が、今、まさに利用期に達しています。

私たち森林組合系統としては、この資源を有効活用しつつ、「伐って、使って、植えて、育てる」という循環利用を通じて、次の世代へ引き継いでいかなければなりません。

近年、木材利用の大宗を占める住宅着工戸数は

年々減少し、木材需要が縮小する中、林業担い手の高齢化や減少という大きな課題も顕在化しています。

私たちは、この現実に向かってしっかりと向き合い、林業が持続可能な産業として成り立つよう、木材価格の安定や担い手確保など、あらゆる手段を講じて対策を進めていく必要があると考えております。

今後も、森林組合系統を下支えする当連合会として、林業の成長産業化に向けて、しっかりと取り組んで参りますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和7年度

くまもと森林フェスティバル

～ 学んで遊べる森の遊び＆木育広場～

期 間：《1日目》11月15日(土) 花畑広場 《2日目》11月16日(日) 熊本城ホール

熊本県主催の「くまもと森づくり活動の日」、「森林吸収量認証書交付式」、「林業担い手の元気づくり大会」、「(新)炭素固定認証式」を統合し、第1回目の【令和7年度 くまもと森林フェスティバル】が2日間の日程で開催されました。



第24回熊本県林業技能競技会 表 彰 式

昨年9月8日、球磨郡五木村内において「技能向上と林業労働安全衛生」の意識の向上を目的に競技会が実施され、同フェスティバルにおいて下記の上位者に表彰が行われました。



表彰式風景

【伐倒・玉切り部門】

- 1 位 熊本県知事賞
菊池森林組合
宇佐川 紫織氏
- 2 位 熊本県認定事業体
連絡協議会賞
阿蘇森林組合
橋本 恭平氏
- 3 位 熊本県林業従事者
育成基金賞
菊池森林組合
本田 紗央里氏

【高性能林業機械運転操作部門】

- 1 位 熊本県知事賞
上球磨森林組合
稲葉 友博氏
- 2 位 熊本県認定事業体
連絡協議会賞
(株)大林業
永田 梨香氏
- 3 位 熊本県林業従事者
育成基金賞
(株)大林業
横溝 文也氏